

# 皮膚・排泄ケア認定看護師

- 皮膚・排泄ケアの領域は、スキンケアを基盤とし、創傷（褥瘡：床ずれ・手術の傷など）、ストーマ（人工肛門や人工膀胱）、排泄障害などの問題を抱えている方を対象としています。それらの問題やリスクを抱えている患者に対し、皮膚の健康を取り戻すこと、また、身体機能や社会生活を制限する排泄障害に対しての苦痛を取り除き、尊厳を保ち、生きる意欲や人間らしさを取り戻すためのケアを専門的な知識・技術を用いて援助します

## 【現在の活動】

- ・ストーマ外来
- ・褥瘡ケアラウンド・褥瘡回診
- ・排尿ケアラウンド
- ・院内・院外の医師・看護職者、コ・メディカルに対する勉強会の開催
- ・スキンケア分野に関する知識・技術をもった看護師の育成
- ・看護学生や認定看護師教育課程、特定行為研修受講者などに対する教育
- ・市民公開講座の企画・運営
- ・研究会や講習会の企画・運営
- ・研究会や学会などでの発表

# メンバー紹介

## 内藤 志穂

私は学生のときにストーマ(人工肛門)造設される方を受け持ったことをきっかけに、この分野に興味を持ちました。多くの患者さんに関わる中で、人の尊厳にかかわる排泄ケアに悩んでいる方に多く触れ、何か自分にできることはないだろうかという思いから、日本で始まった認定看護師教育の第1期生として1997年に皮膚・排泄ケア認定看護師資格を取得しました。2018年からは創傷管理分野の特定看護師としても活動を開始し、入院前から退院後まで、患者さんがその人らしく生活していけるようトータルの介入を目指して活動しています

## 六本木 令子

救命センターで重症患者の創傷管理を長年行っていた経験から、早期からの褥瘡予防、早期治癒に向けた継続的なケア介入が重要であると強く感じています

2011年に皮膚・排泄ケア認定看護師を取得し、現在は褥瘡専従看護師として、褥瘡予防・褥瘡患者のラウンドや回診を行っています。今後も褥瘡発生率を更に低下していけるよう組んでいきたいと考えています

## 近藤 創

付属病院ICU・CCU所属時に、緊急でストーマを造設した患者の看護について興味を持ち、2012年に皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました。取得後、付属病院消化器センターに異動し現在に至ります。現在は、ストーマを造設する患者の看護を中心として認定看護師として実践しています。その他、2019年より排尿ケアチームに所属し、排泄に関わる看護を実践していきたいと考えています

## 古田 育巳

私は付属大磯病院消化器外科・泌尿器科病棟とICU・CCU、付属病院ICU・CCUの経験を経て、2014年に皮膚排泄ケア認定看護師を取得しました。現在は付属病院ICU・CCUにおいて勤務しております

2020年度からは創傷管理分野の特定行為においても早期の創傷の治癒に向けて一般病棟・外来で日々実践を行っています

## 難波 結子

創傷や排泄障害の存在は、ADL(日常生活動作)やQOL(生活や人生の質)に大きくかかわります。私は救命救急センターで勤務していますが、皮膚・排泄ケアはどのような段階の患者さんにも必要なものだと思います。2017年に皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました。侵襲の大きな重症患者さんに対して、早期からのケア介入を実践しています